

高松市立川添小学校 体力向上プラン

【学校教育目標】

豊かな感性と知性を持ち、心身ともにたくましい児童を育てる。

【本校の課題】

- 多くの学年で、男女とも、握力、立ち幅跳び以外の種目で、県・全国平均を下回っている。
- 1～3年生において、平均の値との差が大きく、学年が上がると差が縮まる傾向が見られる。

【現状】

休み時間等には、多くの児童が元気よく運動場で遊んでいる姿が見られ、活動的である。また、ボールを使った遊びや鬼ごっこ、遊具での遊びなどさまざまな遊びをしている。

体育の授業においては、担任ごとに学習内容を設定して授業を行っている。また、全校ではなわとびを中心として体力づくりを行っているが、年間を通じての課題とはなっていない。

【取組み】

縦割り班「ふれあい活動」の活用

月2回のふれあい活動で、長縄跳びによる8の字跳びに取り組む。ふれあい班の11～12人グループごとに上級生が下級生に跳び方を教えながら実施していく。

なわとびカードの活用

これまで冬季の体力づくりとしてなわとびを実施してきたが、学年に応じたなわとびカードを活用し、それぞれ何級まで進級しているか把握しながら継続して実施していく。

パワーアップカードによる自主的な運動の推進

5月に実施した新体力テストの結果やふだんの運動経験から、児童一人ひとりが自分に合った運動を選択し、自主的に運動に取り組めるようにする。また、夏季休業中に家庭でも継続していけるようにする。



【目標】

- 全校生がパワーアップカードをもとにした自分の運動課題に自主的に取り組むことができる。
- 各学年のなわとびチャレンジカードで、5級以上が50%をこえる。